



イギリスの公教育制度と国際社会における教育コンテンツの展開

教育学部児童教育学科 准教授 三山 緑

キーワード

イギリス、公教育制度、経路プログラム、教員養成、学校経営

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

2019(令和元)年6月から半年間、イギリスでの語学研修の機会を持ったことをきっかけに、大学に附設されている語学学校(あるいはプログラム)の役割について関心を持ちました。イギリスは、日本と同様の島国ですが、自国の公教育制度に移民や留学生を巧みに包摂し、一方で自らの教育コンテンツを海外に向け積極的に展開してもきました。こうした日本とは対照的なイギリスの教育戦略とその軸となっている公教育制度について、より理解を深めることで、留学に対する素朴なイメージから一歩踏み込んだ思考を促すことができると考えています。

2 連携可能性のある研究分野、又は、これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

・教育制度論や教職論といった教職科目を担当してきた関係で、学校評議員を務めた経験や、大学の教員養成カリキュラムの評価に関する研究にも関与した経験があります。そのため、学校経営や学校と地域の連携に関わる仕事や研究活動、教員養成、教員研修プログラムの充実に貢献できる可能性があります。

これまでの連携実績

- ① 共同研究、受託研究等
 - ・東京学芸大学教員養成評価開発研究プロジェクト第2期評価員
(2015(平成27)年6月～2016(平成28)年3月)
- ② 企業・行政・各種学校の委員等
 - ・下関市立一の宮小学校学校評議員(2006(平成18)年6月～2009(平成21)年3月)
 - ・中国・四国地区私立大学教職課程研究連絡協議会地区運営委員等
(2006(平成18)年4月～2010(平成22)年4月)
- ③ 講演会講師、研修会講師、公開講座講師の実績
 - ・広島経済大学教員免許更新講習必修領域「教育の最新事情」の中の「教職に関する省察」担当
(2017(平成29)年8月、2018(平成30)年8月)